
2023年度 通期 業績 決算説明資料

先生と患者さんに喜ばれたい



2024年2月13日

- 会社概要 3
- 通信販売事業カタログ 4
- 2023年度 通期業績**
- 業績概要 6
- 2023年度～進行期 主なトピックス 7
- 事業別売上高・総利益 9
- 通信販売事業の売上高・総利益 10
- その他の事業の売上高・総利益 11
- 販売費及び一般管理費 12
- 貸借対照表 13
- キャッシュフローの状況 14
- 設備投資・減価償却費 15

2024年度 通期業績予想

- 通期業績予想 17
- 年間配当(予想) 18

APPENDIX

- 1. 新本社ロジスティクスセンター 20
竣工について

注記事項

本資料に掲載されている目標数値ならびに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記載している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

企業名	株式会社歯愛メディカル
本店所在地	石川県白山市鹿島町一号9番地1
代表者	代表取締役社長 清水 清人
設立	2000年1月
資本金	1,000万円
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場(証券コード:3540)
従業員数	1,057名(うち、臨時雇用者数 584名) (連結2023年12月末)
拠点	<p><ショールーム> 東京、大阪、岐阜羽島</p> <p><営業拠点> 札幌、仙台、東京、長野、名古屋、大阪、広島、福岡、鹿児島</p> <p><その他拠点> Ci CAD/CAMセンター 3D Design Lab(石川)</p>
経営理念	先生とその患者さんに喜ばれたい。 更に社員、取引先に喜んでもらえる会社になりたい

当社は歯科医院や歯科技工所を中心に、各種医療機関への通信販売等を主たる業務としております。経営理念のもと、徹底した「お客様視点」を重視し、全国およそ6万軒の歯科医院に納品、歯科業界での歯ブラシ販売本数、また歯科通販売上高ではトップシェアとなっております。

カタログ通販

通信販売用カタログを年1回～数回発行
更に適宜、毎月1回以上のセール、DM等により、顧客ニーズに細かく対応しています



歯科医院向け



歯科技工所向け



介護・福祉施設向け



動物病院向け



病院・一般診療所向け



幼稚園・保育園向け



理美容・エステサロン向け



調剤薬局向け



歯科医院向け



クリニック向け

2023年度

通期業績

2023年度 通期 業績概要

- 当連結会計年度は、引き続き主力の通販事業、大型医療機器販売事業、CAD/CAM関連事業等において売上高を堅調に拡大、通信販売事業、電力小売取次事業等で価格転嫁を進めたことで総利益額も増加。
- 新本社ロジスティクス竣工(2023年10月2日)により同センターに係る減価償却が開始するとともに、備品・消耗品費が増加、同センター完全稼働までの移行期間は新旧センター並行稼働により販管費が増加しました。なお、来期(2024年12月期)に見込まれる同センターに係る補助金額の確定に伴う影響に関しては、12ページに記載しております。

(単位:億円)	2022年度	売上 構成比	2023年度	売上 構成比	増減	
					金額	前年比
売上高	428.9	100.0%	456.3	100.0%	27.4	106.4%
総利益	116.7	27.2%	119.9	26.3%	3.2	102.8%
営業利益	39.9	9.3%	29.9	6.6%	▲10.0	74.9%
経常利益	38.9	9.1%	33.0	7.2%	▲5.9	84.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	25.2	5.9%	20.8	4.6%	▲4.4	82.6%
1株当たり 当期純利益	252.16円	—	208.27円			

6月

韓国Imageworks社とDentbirdの
独占販売代理店契約を調印
クラウン設計のAI自動化サービス開始

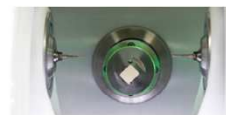


8月

One Visit トリートメントリリース
患者さんはその日に最終補綴物を
装着して帰宅が可能に



ウェットタイプ



完焼結型ガラスセラミック
熱処理不要で研磨だけで口腔内にセット可能



10月

Ciデンタルショー in 横浜を開催
約1400名がご来場
大型機器を中心に受注額は6.0億円
(いずれも過去最高を更新)



新本社ロジスティクスセンター竣工および
本社機能に移転、最新鋭マテハン設備導入
出荷能力3倍超の実現に向け稼働開始



12月

インナーウェアのインターネット販売事業会社（株）白鳩の株式33.2%を取得し
持分法適用関連会社化
女性向け商材・サービスの充実とEコマース事業の強化を目指す

1月

令和6年能登半島地震が発生
本社ロジスティクスセンター及び本社事務所等の建物及び設備への被害は少なく、
一次避難所として地域の方へ開放
歯ブラシ、除菌ウェットティッシュ、洗口液等の必要物資を被災地に提供

また、被災地域の歯科医院様、福祉介護施設様等に対して義援金並びに飲料水、
歯ブラシ、除菌ウェットティッシュ等の支援物資を提供

2月

新物流センターへの完全移転の目途がついたことを受け
新規事業 C i B i z スマイル（事業者様向けの総合通販）を本格的にスタート

エリア限定事業者向け通販

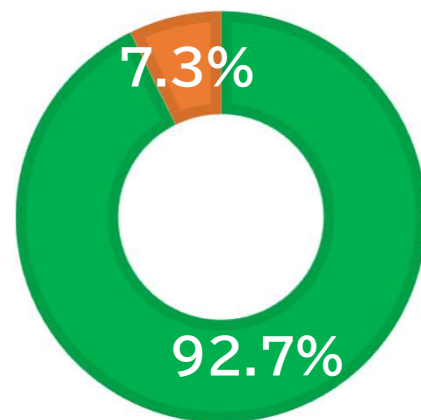
CjBizスマイル

<https://www.ci-medical.com/biz>

2023年度 通期 事業別売上高・総利益

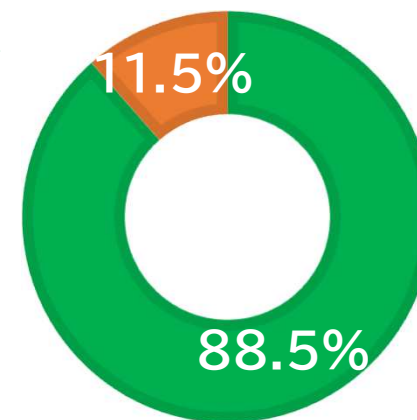
(単位:億円)		2022年度	2023年度	増減	
				金額	前年比
通信販売事業	売上高	404.6	423.1	+18.6	104.6%
	総利益	105.8	106.1	+0.4	100.4%
	通販事業の総利益率	26.1%	25.1%	—	—
その他の事業	売上高	24.4	33.2	+8.8	136.2%
	総利益	11.0	13.8	+2.8	125.8%
	その他事業の総利益率	45.0%	41.6%	—	—

売上高



■通信販売事業 ■その他事業

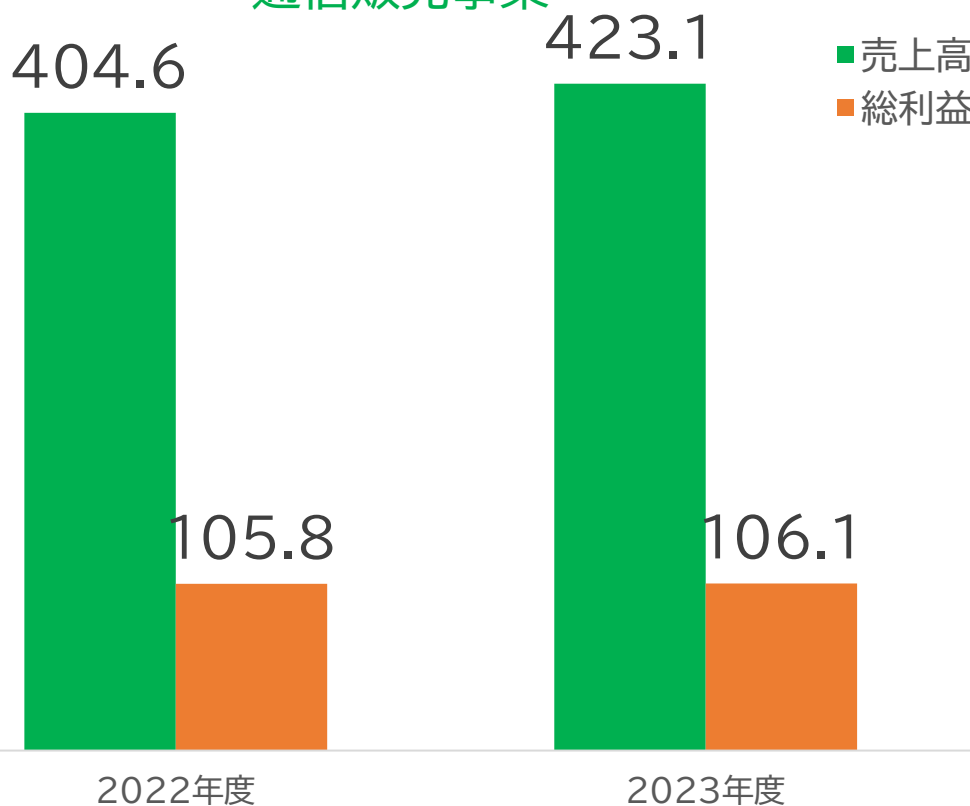
総利益



■通信販売事業 ■その他事業

2023年度 通期 各事業の売上高・総利益

通信販売事業



売上収益 +18.6億円

- 【+】・通販事業は全体的に堅調に推移
 - ・2023年5月と11月に歯科総合カタログを発売、価格改定を実施。歯科以外も下期より順次対応。
 - ・当社主催デンタルショー、レントゲン新機種投入により大型機器販売が引続き好調

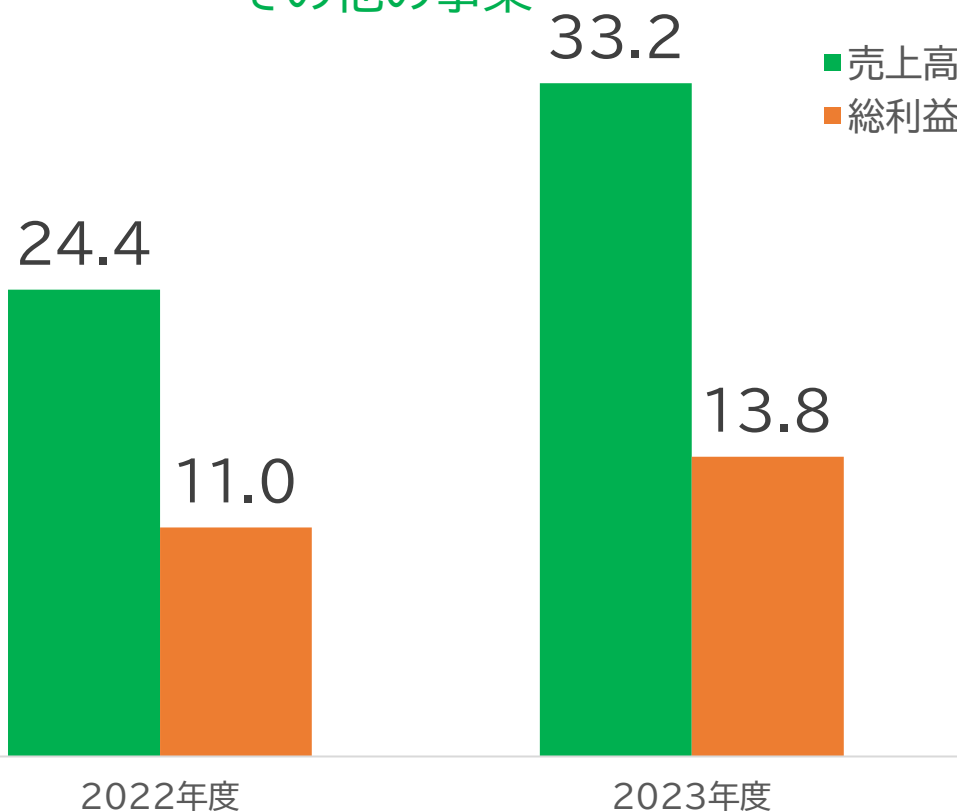
総利益 +0.4億円

- 【+】・個人向け通販が好調に推移。
- 【-】・円安・原材料高の影響により総利益率が減少。

(単位:億円)	2022年度	2023年度	増減	
			金額	前年比
歯科関連	347.8	363.9	+16.1	104.6%
歯科関連以外	56.8	59.2	+2.4	104.2%

2023年度 通期 各事業の売上高・総利益

その他の事業



売上収益 + 8.8億円

- 【+】・歯科技工会社M&Aにより売上高増加。
- ・2022年4月CAD/CAMインレー保険適用の反動で技工用機器・システム販売は対前期比で売上減となったが、保険適用拡大に伴う底堅い需要は継続。
- ・技工物製造事業は堅調に推移。
- ・電力価格高騰の影響により電力売上収益は減少したが、価格転嫁及び経費削減等により第2四半期より黒字化、収益改善が進む。

総利益 + 2.8億円

- 【+】・歯科技工会社M&Aにより総利益増加。
- 【-】・電力小売取次事業が占める割合の低下、CAD/CAM関連でディーラー経由販売増加で総利益率は減少。

(単位:億円)	2022年度	2023年度	増減	
			金額	前年比
CAD/CAM関連事業 (技工用機器・システム販売、技工物製造)	21.5	30.6	+9.1	142.4%
電力小売取次	1.7	1.0	▲0.7	57.6%
その他	1.2	1.6	+0.4	135.8%

2023年度 通期 販売費 及び 一般管理費



(単位:億円)	2022年度	2023年度	増減		
			金額	前年比	主な要因
給与手当	13.9	15.1	+1.2	108.5%	ロジスティクスセンター 及び事業企画部門等で 人員強化、新規連結子会社増加に伴い人件費が増加
倉庫人件費	7.6	8.1	+0.5	106.3%	
広告宣伝費	5.7	6.7	+1.0	116.7%	2023年5月と11月に歯科通販総合カタログを発刊、 歯科以外でも新物流センター本格稼働を見据え セールに注力したことで増加
荷造運賃発送費	21.6	22.5	+0.9	104.1%	売上増加に伴う出荷量の増加等
減価償却費 ※	3.6	9.0	+5.4	247.8%	新物流センター竣工により、2023年9月より同セン ターに係る減価償却が開始
のれん償却	0.2	0.7	+0.5	400.0%	前年度連結した歯科技工子会社に係るのれん償却費 の計上
その他	24.1	27.9	+3.8	115.7%	新物流センター竣工に伴い備品・消耗品費等が増加
合 計	76.8	90.0	+13.2	117.2%	売上高増加、連結子会社増加、新旧物流センター 並行稼働等により全体的に増加
従業員数	407	473			
臨時雇用者数	486	584			

※経済産業省「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金」の金額確定は2024年12月期に見込んでおり、
対象固定資産の圧縮記帳の影響は減価償却費の減額効果等により、2024年12月期及び2025年12月期以降の業績に
反映される見込みです(2023年12月期は圧縮記帳前の固定資産価額を基礎として減価償却計算をしております)。

貸借対照表

(単位:億円)		2022年 12月末	2023年 12月末	増減	
				金額	前年比
流動資産	140.7	178.5	+37.7	126.8%	
固定資産 ※	161.1	236.6	+75.5	146.8%	
資産	301.9	415.1	+113.2	137.5%	
流動負債 ※	114.2	208.7	+94.5	182.8%	
固定負債	4.9	5.0	+0.1	101.7%	
純資産	182.8	201.4	+18.6	110.2%	
負債・純資産	301.9	415.1	+113.2	137.5%	
自己資本	182.2	200.6	+18.4	110.1%	
自己資本比率	60.3%	48.3%	—	—	
現預金	17.3	17.0	▲0.3	98.1%	
売掛債権・未収入金	43.9	47.3	+3.4	107.8%	
棚卸資産	72.3	85.9	+13.6	118.8%	
仕入債務	17.3	17.3	▲0.0	99.7%	
有利子負債	70.9	171.9	+101.0	242.4%	

※ 新物流センター建設等に伴う建物及び構築部・機械装置・ソフトウェア等(固定資産)の増加(+81.4億円)及び
 および短期借入金(流動負債)の増加(+101.0億円)。

キャッシュフローの状況

(単位:億円)	2022年度	2023年度	増減
営業キャッシュ・フロー(①)	14.1	▲1.6	▲15.7
投資キャッシュ・フロー(②)	▲100.5	▲98.0	+2.5
財務キャッシュ・フロー(③)	67.1	98.3	+31.1
キャッシュ・フロー合計(①+②+③)	▲19.3	▲1.3	+18.0
現金及び預金などの期末残高	17.3	17.0	▲0.3
フリーキャッシュ・フロー(①+②)	▲86.4	▲99.5	▲13.1

(単位:億円)	2022年度	2023年度	増減
設備投資※	93.7	88.5	▲5.2
減価償却費	3.8	9.5	+5.7

※主な設備投資： 新本社ロジスティクスセンター関連(石川県能美市にて建設・竣工)

2024年度 通期業績予想

2024年度 通期 連結業績予想



(単位:億円)	2024年度 上期		2024年度 下期		2024年度 通期	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
売上高	236.6	106.6%	263.4	112.4%	500.0	109.6%
営業利益	10.3	58.2%	25.0	204.7%	35.3	118.0%
経常利益	10.8	55.1%	25.4	190.0%	36.2	109.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6.6	53.6%	17.9	209.1%	24.5	117.6%
経常利益率	4.5%		9.7%		7.2%	
一株当たり当期純利益	65.73円		179.05円		244.77円	

※12ページ記載、補助金額の確定に伴う圧縮記帳は2024年度下期に実施予定のため、同年度上期に計上する減価償却費は一旦は圧縮記帳前の固定資産価額を基礎として計算・計上(約1.8億円/月)しますが、通期では圧縮記帳後の固定資産価額を基礎として計算した減価償却費(約0.9億円/月)の12か月分を計上予定です。

1株当たり連結純利益および配当金					
(単位：円)	2022年度 (実績)	⇒	2023年度 (実績)	⇒	2024年度 (予想)
1株当たり連結純利益	252.16	⇒	208.27	⇒	244.77
中間配当金	0.00	⇒	0.00	⇒	0.00
期末配当金	25.22	⇒	25.22	⇒	未定
年間配当金	25.22	⇒	25.22	⇒	未定

配当性向目標：連結純利益の10%

現時点では、配当予想額は未定です

APPENDIX

●センター概要

所在地 : 石川県能美市

用地面積 : 65,329m²

竣工日 : 2023年10月2日

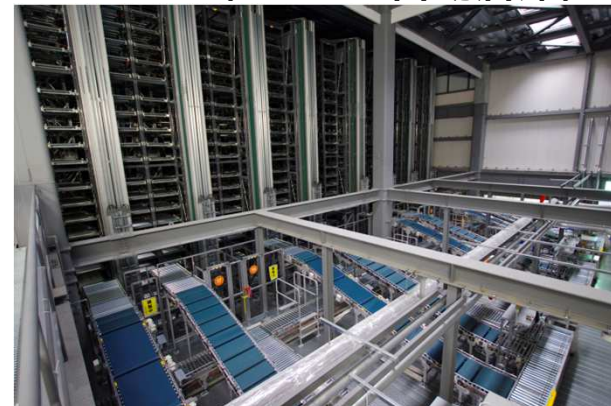
総投資額 : 約230億円

・パレット自動倉庫、ADAPTO(バケット自動倉庫、日本初導入)、AMR(オートノマス・モバイル・ロボット、自動搬送車)等の最新鋭のマテハン設備を導入したことで、作業効率及び生産性の向上を実現し、商品の保管能力並びに出荷能力を現行のセンターの3倍以上へ高めていく予定です。

・当社の新物流センターは、経済産業省「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金」の採択を受け、「補助金対象事業B(国民が健康的な生活を営む上で重要なものの生産拠点等の整備)」(補助率 約3/4、上限150億円)に該当しております。



ADAPTO(バケット自動倉庫)



AMR(自動搬送車)



●現在の稼働状況

- ・当初、新センターへの完全移転を昨年12月末迄に完了予定でしたが、システム・設備の立ち上げに想定以上に時間を要したこと、年初の令和6年能登半島地震の影響で設備に微妙にズレ等が生じたことで再度調整が必要となったこと等により、完全移転は今年3月末を見込んでおります。
- ・新センターへの完全移転の目途がついたことで、今後は大幅に増強された商品保管・出荷能力、競争力を持つ低コストオペレーション能力を十分に活用し、新規事業(CiBizスマイル：一般事業者様向けBtoB総合通販事業)、3PL事業(物流受託事業)等の成長戦略を実現してまいります。

先生と患者さんに喜ばれたい

Cjメディカル